

新たな仲間と、新たな気持ちで、変わらずに……

第2学年キックオフです!!

やさしく ただしく おもしろく

やさしく
つたえあう
みとめあう
ともにある

ただしく
かんじとる
かんがえる
うごきだす

おもしろく
つきつめる
まなびあう
つくりだす

ゴールに向けて一歩ずつ

やさしく ただしく おもしろく

新たな仲間とともに、新たな気持ちで、第2学年がスタートしました。昨年度からこの学年に所属していた職員に加え、新たに倉吉先生(保健体育科)、甲斐先生(音楽科)、森木先生(特別支援学級)を迎えました。新学期がスタートしてまだ2週間ですが、すでに「新たな風」が吹きつづいています。

メンバーは変わっても、私たちが目指すことは変わりません。今年度も、子どもたちが自分の人生(キャリア)を自分で創造していくことができるお手伝いをしたい、そう思っています。この1年間を通して、子どもたちがそれぞれに「生きるほうほう」を発見・創造・共有していくことができるよう、全力でサポートしていきます。(「生きるほうほう」については、次号以降で詳しく説明させていただきます。)

「学年経営ヴィジョン」をつくりました。子どもたちと一緒に、その実現を目指していきます。

第2学年のヴィジョンは「やさしく ただしく おもしろく」です。このヴィジョンは、昨年度の子どもの様子をもとに、私たちの願いや期待を込めてつくりました。「やさしく」「ただしく」「おもしろく」の下にはそれぞれハッシュタグ(＃)を付けています。これらのハッシュタグは、下に行くほどレベルが上がるようにしています。(裏面にヴィジョンの全体像をのせています。ご参照いただけますと幸いです。)

来年の3月、子どもたちが2年生での学びを修了し、いよいよ第3学年へ進級しようとするとき、このヴィジョンが実現できていることを目指して、地道にがんばっていきます。保護者のみなさまとの交流も少しずつ増やしながら、やさしく、ただしく、おもしろく過ごしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

決意表明

4月8日(木)に行われた始業式では、第2学年を代表して、黒木麻帆さんが決意表明をしました。黒木さんは「学年の課題は何か」「学年として目指すべき姿は何か」を考え抜き、それを端的かつ力強い言葉で綴り、落ち着き、語りかけるように発表しました。

全文を紹介します。

ここには昨年度の課題を把握し、原因をつきとめ、解決に向けてどのような考え方をもちべきなのかが綴られています。

黒木さんが学年を代表して表明した「人を思いやれる2年生」は、学年経営ヴィジョンにも呼応するものであり、調和するものでもあります。実現を目指します。

私たちが目指す姿

私たちは、人の気持ちを考えることのできる学年になりたいです。それが実現できれば学年全員が楽しく、安心して成長できるようになります。そのためには、今、私たちにある2つの課題を解決しなければなりません。

一つ目の課題は、私語が多いことです。昨年度、私たちは解決に挑戦しました。そこでは、「私語を次のように定義しました。」「一、まわりの人が迷惑だと感じるものである。二、人が話しているときに発せられる必要のないものである。三、話してはいけない場で話すことである。」

しかし私たちは、先生に注意されるまで私語をしていることが多々ありました。先生が注意するということは、自分たちで自分たちの現状を正確にメタ認知できていなかったことを意味します。また、誰かが私語をしていたことにより、聞き逃しがあつたり、学び逃しがあつたりします。そして何より、怒られると、いい気持ちにはなりません。

二つ目の課題は、時間を守ることへの意識が低いことです。二着一黙はまだまたな部分があります。学級の誰かや先生が着席の指示をすることもあります。授業の開始時刻に遅れてしまうと、困る人は自分だけではないと思えます。

私たちは昨年度、この2つの課題を自覚してはいました。しかし、この2つの課題には、ある共通の原因、真の原因、があることに気づきました。

それは、「人を思う心の不足」です。自分がその行動をとることで、学級の仲間や先生がどう思うか。それを考えれば、今、自分がどうするべきかがわかってくるはずですよ。

私たちは、人の気持ちを考えることのできる学年になります。人を思いやれる2年生になります。

保護者のみなさまへ

ご心配なこと、ご不明なことなどがありましたら、お気軽にお問合せください。

TEL:
Mail:
(第2学年主任：鬼塚拓)